

旧市立くすの木園の跡地活用について

■経過等

- 旧市立くすの木園の跡地については、旧施設の民営化（令和2年4月）、新園舎への移転（令和4年11月）を経て、令和6年3月に建物の解体工事が完了して、現在は更地状態。
- 当該用地については、重度障害者の自立した生活を支援するグループホームの整備等を行おうとする中、用地内において焼却炉の稼働履歴があることから、整備に先立ち、地歴調査及び土壌調査を実施中。
- これまでの調査状況からは当該用地においては所定の基準値を超えるような土壌汚染は無いことが見込まれることから、グループホームの整備等に向けての取組を進める。

■整備に向けて

1. 土地の概要

所在地： 津田東町 2 丁目2608番 3

地 積： 4484.57m²

登記地目： 宅地

区域区分： 市街化調整区域

建蔽率・容積率： 60%・200%



■整備に向けて

2. 内容

- ①主に重度障害者を受け入れる民営によるグループホームの整備等のため、実施事業者は無償貸与を行うこととし、グループホームを実施する事業者の公募・選定等を行う。
- ②実施事業者の公募・選定については、新たに設置する(仮称)くすの木園旧園舎跡地整備事業者選定審査会において審議を諮る予定。

■整備に向けて

3. 今後のスケジュール

令和7年2月 市民福祉委員協議会で報告

3月 定例月議会に附属機関条例の一部改正案提出

地歴調査・土壌調査の完了

4月 (仮称)くすの木園旧園舎跡地整備事業者選定審査会（以下、「審査会」）の設置

5月 審査会開催（公募内容の審議）

6月 実施事業者の公募開始

8月～10月 審査会開催（実施事業者の選定）

11月 市民福祉委員協議会で選定結果を報告

令和8年9月 障害者施設等整備補助金の採択を受けた後、実施事業者による着工

令和9年4月 グループホームの運営開始